

愛寿会 たより

4月号
第106号
平成20年
4月1日発行



スノードロップ（春の訪れを感じる花です）
花「とび」『希望』

板山路線の踏襲を第一に

理事長の重責を担うことになりました

三月二十一日の理事会において皆様のご推挽をいただき四月一日から理事長の重責を担うことになりました。

前任の板山賢治氏は人も知るとおり社会福祉では国レベルの権威者です。

私は氏のご推挙のもとこの十数年愛寿会の仕事にかかわらせていただき、その後ろ姿を拝しつつ福祉とは如何にあるべきかを学ばせていただきました。それを反芻しながら長きに亘り確立して来た板山路線を踏襲していくよう努めて参ります。

同氏には、理事全員の懇望を容れられ、愛寿会初代会長として引き続きご指導いただけることになりました。安堵しています。

板山賢治氏の「功績の数々」

氏は、第三代理事長として平成八年四月以降十二年間、愛寿会の、またその設置する各施設の牽引車の役割を果して下さいました。そのご功績は到底数え切れるものではありません。うち私なりに三点を挙げてみます。

第一は、施設運営の基本的な方針として、「利用者本位のサービスの実践」、「専門性の活かせる職場づくり」、「地域社会との協働と貢献」の三項目を、ま

理事長 小澤 澄夫

た、職員の日常の心得として、「はい・すみません・ありがとう・おかげさま・どうしました・そうですね・させてください」のいわゆる「七つの誓い」を制定し、その実践に努め、県下屈指と評されていた当会各施設のサービス水準に一層磨きをかけ不動のものにしたことです。

第二は、建設後三十年を迎え老朽化が目立ち始めた仁生園を全面改築、近代的施設に一新させたことです。氏の手腕なかりせばの思い一入です。

第三は、この地に、県内で初めて障害者自立支援法に基づく入所施設を建設したことです。これまた「地域に不可欠」とのご英断ゆえでした。

あれこれ考えますと、正しく「愛寿会中興の祖」といわなければなりません。

その路線を忠実に引き継ぐのが後任の義務

新しい理事長といってもこれまでのものに付加すべきものにはないと思っています。役員皆様のお力をかり、職員ともども板山路線を歩んでいくことが大事と考えています。

敢えていうならば、七つの誓いは「より親切に」という言葉に要約することができようかと思えます。そうあるよう一層腐心して参ります。

また、「より働きやすい職場づくり」を目指すのも当然です。こうした当然のことを当然として踏襲していくことが、板山先達がいつも口にされた「地域と共にある愛寿会」、「地域に信頼される愛寿会」につながっていく道…と確信しています。

どうか各方面からのご指導、ご叱正のほどをお願い申し上げます。

料金後納
郵便

差出人(差出発送代行)
7-4
佐川物流サービス(株)

返送先: 〒140-0012
品川区勝島1-1-1

申子小包

このお荷物には依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

― 理事会・評議員会 ―

三月二十一日、第一七二回理事会・第一五回評議員会が開催され、次の議題について協議されました。

一、役員の就任について

理事・評議員

・ 島口邦昭 北杜市教育委員長

評議員

・ 齋木正光 北杜市民生委員代表

・ 小尾祐一 長坂町三ヶ区区长代表

・ 三澤喜代子 愛寿会後援会員

本年度七月二十四日までの前任者残任期間をお願いすることとなりました。

二、平成一九年度補正予算について

本部会計、仁生園会計外補正予算が原案通り承認されました。

三、平成二十年年度運営方針・一般会計予算等について

愛寿会運営方針及び発展計画を含めた事業計画等、原案通り承認されました。又、本部会計外六会計の収支予算が原案通り承認されました。

四、理事長の改選について

四月一日付にて改選されることになりました。

板山賢治理事長



会長

小澤澄夫副理事長



理事長

愛寿会後援会総会開催のお知らせ

五月三十日、愛寿会後援会総会を開催いたします。

○ 日時 五月三十日（金）十六時～

○ 開催場所 愛寿会本部 会議室

― 平成二十年年度愛寿会運営方針・事業計画 ―

一、運営方針

二十一世紀の超高齢化社会へ対応するため、「利用者本位のサービスの実践」「専門性の活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」を目指し、八ヶ岳南麓地域における「福祉総合生活支援センター」としての役割を果たすよう、次のような方針をもって法人の運営を進める。

ア 福祉の基本は、利用者本位のサービスの実現と自立支援にある。

そのために、利用者一人ひとりのニーズの的確な把握とサービスの提供に努める。

イ 「仁生園」は、高齢者の生活支援の実現を目指し、入所・通所両面にわたり、より良いサービスプログラムの策定と実践等に努める。

ウ 「第二仁生園」は、自立と社会参加の実現を目指し、ハード・ソフト両面にわたり環境整備に努めるとともに、利用者参加により新しい時代にふさわしい事業運営に努力する。

エ 介護保険・自立支援制度の改革、施策の進展等に対応して、役職員の意識改革・研究開発を進めるとともにケアワーカーの専門性と資質の向上に努める。

二、事業計画

平成二十年度も理事会・監事会・評議員会の開催、情報開示、苦情相談、安全対策、財政基盤の確立、職員の資質向上に努めてまいります。又、「やすらぎ地域運営委員会」に加え新たに「第二仁生園運営委員会」を充足させ、事業運営を進めてまいります。

三、予算編成方針

ア 予算編成にあたっては、次の要素を勘案しつつ財政の合理化に努める。

① 平成二十年借入金償還（独立行政法人 福祉医療機構）

② 愛寿会の発展計画の推進

・ 「仁生園」二号館 屋根・外壁（雨漏り防止） 改修工事の実施

・ 「第二仁生園」 作業棟建設

④ 各種経費の節減

イ 事業の努力目標

① 特別養護老人ホーム利用率 九八・四%

② ショートステイ利用者数 十三名

③ グループホーム利用率 九九・二%

④ 生活支援ハウス利用率 七七・〇%

⑤ デイサービスセンター年間利用者数 三、八〇〇名

- ⑥ 相談センター年間利用者数 四〇八名
- ⑦ 第一仁生園 利用率 九八・〇％
個別の支援計画を見直し、自立訓練・就労支援・余暇活動・社会参加等日中活動の充実、又ショートステイの活用に努める。

四、その他

- ・ 役員の改選（平成二十年七月二十四日）
- ・ 苦情解決委員の改選（平成二十年四月二十七日）
- ・ 業務改善委員会の設置

— 平成二十年度人事異動 —

事務局 財務部長 神部 司



この度の人事異動により、財務部長の任に就くこととなりました。

身に余る大役を仰せつかり、誠に微力とは存じますが、諸先輩方各位及び、役員並びに、職員の皆様方のご指導とご助言を仰ぎながら、その職務に邁進して行く所存でございます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

さて私は、愛寿会が八ヶ岳南麓に設立されて三十余年が過ぎ、ゆるぎない成長を遂げてきたものと確信いたしております。

高齢化、少子化と称される昨今の社会情勢の中で、愛寿会には、従前にも増して一層の躍進が求められている状況にあると思います。

この意味からも、職員皆様には、福祉事業に対する社会的な関心の高まりの中で、「清潔な生活環境の確保と、充実した介護サービスの実現」を目指して、一同が初心に帰り、与えられた職責を全うすると共に、「愛寿会七つの誓い」のもと「努力を厭わないこと」を切にお願い申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

一号館ケアサービス担当 副園長 浅川まゆみ



四月より一号館ケアサービス担当副園長を仰せ付かることとなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

一号館は現在七十四名の利用者の皆様、ユニットに分かれ、職員はそれぞれ利用者本位のサービスの提供に努めております。私自身、デイサービス、仁生園、グループホームと勤務する中で、義母が三年間、仁生園に入所。入所者の家族という立場も経験し、職員とは少し離れた所でも特別養護老人ホームを見ることが出来た様に思います。「自分の家族が、やがては自分が入所したいと思える施設を作ろう。」そんな園長の言葉を常に念頭に置き、今日まで歩んで参りました。目まぐるしく改正される介護保

険制度に乗り遅れない様に、情報を取り入れ、質の高いサービスを提供し、そして何より、入所者の皆様に日々楽しんでいただける様、微力ながら努力していきたいと存じます。

二号館ケアサービス担当 副園長 植松喜代美



四月一日より、二号館ケアサービス担当副園長に就任させて頂くことになりました。皆様のご指導、ご協力を賜わり、頑張る所存であります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

仁生園に勤めさせて頂きまして、十七年、「明るく、元気。」を自分のモットーに、利用者の皆様一人ひとりが楽しく、安全で安心した生活を送って頂く事が、御家族の安心にも繋がると信じ、日々取り組んでまいりました。

これからも仁生園の目標であります「安全で安心したサービスの提供」「その人らしいサービスの提供」「できる限り在宅に近いサービスの提供」に、努めてまいりたいと思えます。又、二号館には、ターミナルを御家族と共に過ごして頂ける様、看取りの室を、昨年設置して頂きました。最重度の介護は勿論ですが、ターミナルについても、医務、嘱託医との連携を図りながら、手厚い介護を行ないたいと思っておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

○仲田盛興様 ○(有) 松本工務店様
 ○藤原正三様 ○永関 操様

― 後援会入会の方々 ―
 (二月〜三月)



【 花作りをしながら会話も弾みました 】

三月十八日(火)、北杜高校二十七名の生徒のみな様が、実習のため来園されました。紙芝居や折り紙、リハビリ体操などを入所者の方々といっしょに楽しまれ、月一回の行事『模擬喫茶』にも参加して頂きました。北杜高校のみな様ありがとうございました。

〔 北杜高校 〕



【 大切に使用させていただきます 】

三月六日(木)、山梨県年金受給者協会 北杜第一支部九名の方々が来園されました。タオルやオムツなどたくさん品の物を頂きました。また、希望により施設見学をされたり、後援会への入会もして頂けることになりました。

〔 山梨県年金受給者協会 〕

ご家族のみな様にお願ひ

「ご登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更・更新がある場合には、ご利用のサービス担当者までご連絡のうえ提出ください。」

ご芳情 (三月一日〜三月三十一日)

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
- ・レクボランティアゆずっこの会 様
- ・北杜市 山鳩の会 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 小野寺 毅 様
- ・北杜市 白倉 英喜 様

利用者状況 (三月末現在)

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十五・八名
デイサービスセンター	四十三名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	七名
第二仁生園	三十名

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。
 電話 0551-32-3340